

平成28年度 関東森林管理局森林・林業技術等交流発表会 開催結果

- 1 開催日時 平成29年2月23日(木) 10時00分～16時55分
平成29年2月24日(金) 9時30分～14時55分
- 2 開催場所 関東森林管理局 2階大会議室
- 3 発表課題 1日目(23日) 16課題
2日目(24日) 7課題 計 23課題
- 4 特別講演 演 題 「科学的知見で示す針葉樹人工林への広葉樹林化技術」
外部講師 森林総合研究所 林業研究部門 森林植生研究領域
群落動態研究室長 佐藤 保 氏
- 5 参加者 発表者、職員、行政機関等および一般来場者あわせて
(※スタッフを除く2日間延べ人数) 合計 450名
- 6 審査員 審査員長 吉丸 博志(森林総合研究所 研究専門員)
審査員 谷本 丈夫(宇都宮大学名誉教授)
福田 栄子(栃木県林業振興協会女性部会顧問)
宮本 基杖(森林総合研究所 企画部 広報普及科長)
- 7 受賞結果 別紙のとおり
- 8 概 要 発表は、国有林15課題(外部共同発表含む)、群馬県2課題、神奈川県1課題、静岡県1課題、森林整備センター1課題、群馬県立農林大学校1課題、静岡県立農林大学校1課題、茨城県立大子清流高等学校1課題、計23課題であった。
部門別では、森林・林業・木材産業の成長産業化を推進するための試験研究、技術開発等に関する内容の「森林技術部門」が10課題、放射性物質の除染、拡散防止に向けた対策や病虫害被害に対するの取組等に関する内容の「森林保全部門」が8課題、地域住民やNPO法人と連携して行った森林づくり等に関する内容の「森林ふれあい部門」が5課題であった。
2日目午後の特別講演では、1000万ヘクタールある針葉樹人工林の3割を広葉樹林化に誘導していくにあたっての、目標林型の考え方、天然更新を行う際の注意点やポイント、広葉樹林化のための技術情報などについて講演があり、来場者からは質問が出るなど関心の高さが伺えた。

会場の様子



発表の様子



受賞者記念撮影

